

【山本(由)副委員長】 ありがとうございます。

次に、長崎子ども・女性・障害者支援センター損害賠償請求事件に係る審査を行います。

子ども家庭課長より説明をお願いします。

【吉田子ども家庭課長】 それでは、私の方から長崎子ども・女性・障害者支援センター損害賠償請求事件について、ご説明いたします。

（中略）

【山本(由)副委員長】 ありがとうございます。

以上で説明が終わりました。

質問はありませんか。

（中略）

【山本副委員長】 ほかに質問はありませんか。

【大久保委員】 こういう事案が起きたということで県議会の文教厚生委員会で議論しているわけですが、今、瀬川委員の質問にあった、県だけじゃなくて、これは市町もある意味大きな責任があるのではないかということでありましたけれども、今率直に、市町に調査依頼をした県の立場として、市町に対して何か思うことがありましたらお答えください。

【永松子ども政策局長】 今、基本訴えられておりますのは県でございますが、その間、先ほど説明したように、市町において担当していただくというようなことになっております。その中では適切な処理がされたんだと思いますが、そこを今ここで我々が軽々に言うことはありませんので、市町において精いっぱいやっていただいたんだと、そのように感じておりますが、結果として虐待が1回起こってしまっているということについての原因とかは、そこは今回これを受けまして、担当の市町に調査はちゃんとしなさいというような指導というか、サジェストはしておりますので、そういったものを待って、

事実をきちっとつかんでからものを言わなきゃいけないと思いますので、市町とも、そういったことであったということについて調査しなくてはいけない背景、そういったものについては受け止めはしております。

【大久保委員】 そういう県のスタンスでありますけれども、私たちのこの委員会の場に提出されている資料を見ますと、児童福祉法の改正によって県の児童相談所は負担がかかるから、これは各市町を後方的に支援するんだということで、平成26年11月の状況でも、市町にきちっと調査を依頼して、その結果、それ以上の一時保護には至らなかったというふうな書き方であります。しかし、これは当然市町の言い分もあるでしょうし、それは今後の裁判の中でもいろいろ明らかになってくると思います。

それから、申し訳ないけれども、先ほどの子ども家庭課長の山田(朋)委員に対する答弁は、私は少し納得がいかない。平成23年に、いろんな判断の結果、継続的支援を終結しているわけです。それはその時の判断だったでしょう。しかし、3年後にまた虐待があるという情報が入った。これは回数じゃないと言いましたけれども、犯罪というのは大体繰り返されるんですよ。虐待だって繰り返されている可能性があるわけです。あの答弁は、県として非常に謙虚さに欠ける答弁だと思いますよ。どうですか。

【永松子ども政策局長】 今の発言であれば、回数じゃないというのはそのとおりでございます。当時、児童相談所としても調査をきちっとするように指示をしています。必要に応じては、ちゃんと児童相談所に通告してほしいということをしておりますので、回数がどうとかなんとかじゃなくて、起きた事象をきちっとつかんでくれということによって言っておりますので、回数とい

うことではなくて、起きた事象についてちゃんと対応するというのが我々の立場だろうと思っております。

【大久保委員】 課長を責めるんじゃないで、答弁のやりとりの中でそういう言い方になったのかもしれないですけども、聞いていて、もし児童相談所をはじめ、県の組織にそういう感覚があるのであれば、これはやっぱり批判を受けますよ、絶対。やっぱり3年後にこういう情報が入った時点で、それは児童福祉法上の県の組織がかくかくしかじかというのはあったにしても、「うん、ひょっとしたら」ということで、あの時、3年前に継続的支援を終結したのは間違っていたんじゃないだろうか、より積極的に市町に対して、本当に大丈夫か、本当に大丈夫かということで調査依頼をかけるぐらいの姿勢があつてしかるべきだと私は思うんですね。そういうところが恐らく世間の厳しい目につながってくるんだと思うんですね。

だから、ぜひそこらあたりは、もっと謙虚に、そして長崎の子どもを守るといふ、その立場にいる皆さんが責任をしっかり持っていただいて職務に邁進していただきたいと思うわけでありまして、何かございましたらお願いします。

【永松こども政策局長】 何度も言いますが、起きた事象で判断していくというのが原則でございます。

先ほど課長が言わなかったと思いますが、今回、この3回目、平成26年11月に電話を受けて、児童相談所は市町に対して指示をしております。児童相談所も必要であればちゃんと引き取りますというようなことで伝えておりますので、全然回数とかではなくて、事象をきちっと確認してくれと、必要に応じて児相はすぐ引き取るからというようなことまで申し伝えて調査してく

ださいという話をしておりますので、委員ご指摘のことは、個別には動いていると思います。